

8. 世界史を楽しむ科 （2026年度） 全体テーマ：都市
（ 木 曜日 授業予定表 ） 講師：同志社大学、大阪大学、岡山大学ほか

					午 前					午 後		
	回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容		
1 学 期	1	4	6	月	❶	★	❶入 学 式 （大阪国際会議場）					
	2		16	木	1	初回ガイダンス／ 人類の拡散と海	移動と定住：モンゴロイドの「大航海時代」 —アフリカ大地溝帯、人類初期のアジアの定住遺跡	向正樹（同志社大学） 富田暁（岡山大学）	年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション班役割分担説明 班ごと自己紹介			
	3		23	木	2	海のシルクロード	モンスーンが繋ぐ世界—チャンパー、アンコール	富田暁(岡山大学)	コーダイオリエンテーション クラス自己紹介 班各担当 班長決定			
	4	5	7	木	3	ギリシヤ・ヘレニ ズム	都市国家の割拠するギリシア世界、王国の割拠するヘレニズム時 代—アテネ、アレクサンドリア、ベルガモン	柴田広志 (佛教大学)	自主活動	クラス委員長決定 各担当別会議（代表者決定）遠足行先検討		
	5		14	木	4	東西ローマ世界	2つのローマと地中海世界の変容—ローマ、コンスタンティノーブル	柴田広志 (佛教大学)	〃	班別テーマ検討		
	6		21	木	5	東アジアの古代1	「中華」の誕生—洛陽、建康（南京）	赤羽奈津子 (龍谷大学)	〃	班別テーマ検討		
	7		28	木	6	★校外学習 東アジアの古代2	遣隋使はなぜ派遣されたのか—平壤、漢城、慶州、奈良	赤羽奈津子 (龍谷大学)	〃	班別テーマ検討		
	8	6	4	木	❷	★	❷遠 足 （クラス単位で実施 日程変更可 1学期中に実施）					
	9		11	木	7	唐とシルクロード	唐帝国の本当の「強さ」とは？—長安（西安）	猪原達生 (大阪大学)	自主活動	班別テーマ検討		
	10 11		25	木	8	東部ユーラシア世界の 展開	共存と繁栄の時代—開封	遠藤総史 (志學館大学)	❸社会への参加活動（準備活動）（活動事例研究）			
	12	7	2	木	9	遊牧民と中央ユーラシ ア	騎馬遊牧民の誕生とその展開—統万城、平城	旗手 瞳 (同志社大学)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討		
	13		9	木	10	モンゴル帝国	モンゴル帝国—大都（北京）	旗手瞳 (同志社大学)	〃	フェスタのクラス発表テーマ内容検討		
	14		16	木	11	東アジアの近世	「大きな中国」か、「小さな中国」か	猪原達生 (大阪大学)		1学期成果発表		
			8				夏 休 み					
2 学 期	15	9	17	木	12	大航海時代	ポストモンゴルのインド洋—南京、スーラト、アグラ	向正樹 (同志社大学)	講師交流会	講師と受講生の交流；普段聞けなかった事を聞こう		
	16		24	木	13	中世ヨーロッパとカト リック世界	一千年のヨーロッパ・キリスト教世界—ローマ、ヴィッ テンベルク	石坂尚武 (同志社大学)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討		
	17	10	1	木	14	初期グローバル化と近 世	ベストから見る中近世—フィレンツェ	石坂尚武 (同志社大学)	〃	コーダイフェスタ発表準備		
	18		8	木	❹	★	❹コーダイ健康まつり （日程・場所 未定）					
	19		15	木	15	東南アジアの近世	交易の時代と「伝統」東南アジアの成立-マラッカ	遠藤総史 (志學館大学)	自主活動	コーダイフェスタ発表準備		
	20	11	22	木	16	★校外学習 堺探訪	「日本と世界が出会うまち・堺」を訪ねる	猪原達生 (大阪大学)	〃	コーダイフェスタ発表準備		
	21		29	木	17	イスラームの成立と発 展1	新しい世界の形成—政治的中心の移動—カイロ	堀井優 (同志社大学)	〃	コーダイフェスタ発表準備		
	22	11	12	木	18	イスラームの成立と発 展2	再編される世界—東地中海の諸商港—カイロ	堀井優 (同志社大学)	〃	コーダイフェスタ発表準備		
	23		19	木	19	東アジア海上世界の形 成	中国の近世—海を越えて広がる城隍廟	濱島敦俊 (大阪大学)	〃	コーダイフェスタ発表準備仕上げ		
	24		26	木	❺	★	❺コーダイフェスタ （豊中市立文化芸術センター）					
	25	12	3	木	20	東アジアのなかの台湾	東アジア海上世界の果実—台湾	濱島敦俊 (大阪大学)	自主活動	班別テーマ検討		
	26		10	木	21	東南アジアの植民地化	宗主国は植民地に「良いこと」もした（残した）のか？ —シンガポール、スラバヤ	富田暁 (岡山大学)	〃	班別テーマ検討		
	27		17	木	22	自主企画講座			〃	成果発表会内容検討		
						冬 休 み						
3 学 期	28	1	14	木	23	19世紀末の世界史 における分岐点	❶社会革命（＝フランス革命） ❷経済革命（＝産業革命）	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動	成果発表会準備		
	29		21	木	❻	★	❻社会への参加活動・・・（仮日程；1学期～3学期の間に活動日を1回設定）					
	30		28	木	24	ヨーロッパ諸国の革命 運動から誕生した新し い政治秩序	❶国境変更と新しい統一体形成 ❷現在ロシアがウクライナを侵攻する鍵をクリミア戦争から推測	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動	成果発表会準備		
	31	2	4	木	25	アメリカ合衆国の誕生	植民地から覇権国への道のり	安井倫子 (大阪大学)	〃	成果発表会準備		
	32		18	木	26	グローバル化の中で	アメリカの世紀の終焉—デトロイトとフィデルフィアを事例に	安井倫子 (大阪大学)	〃	成果発表会資料まとめ		
	33		25	木	27	学習成果発表会		向 正樹 (同社大学)				
	34				❷	❷修了式						
	35	3	4	木	❸	★	❸・❹卒 業 旅 行（クラス単位で実施 1泊2日）					
	36		5	金	❾							
授 業（自主企画、成果発表会含む）					2 7 （講座数列 1 ～ 2 7 ）							
学 習 事 業 （ ❶ ～ ❹ ）					9 （講座数列❶～❹）							
合 計					3 6							

よ、都合により変更になる場合があります。